

異文化学び七飯伝える コンコード派遣研修訪問団壮行式



姉妹都市のコンコード町へ向かう訪問団の生徒ら

【七飯】町の姉妹都市、米国マサチューセッツ州コンコード町に海外交流派遣研修へ向かう訪問団14人の壮行式が22日、町役場で開かれた。一行は10月3～14日にかけてホームステイしながら、現地の高校で授業を受けたり施設を見学したりしながら交流を深める。

両町は今年で姉妹都市提携を結んで20年を迎える。訪問団は七飯高校や七飯、大中山、大沼3中学校の生徒らと一般町民代表ら。学生は現地のコンコードカーライル高校に通い、授業や部活動を体験する。町民代表も職業に応じた研修内容で

行動する。

壮行式で中宮安一町長は「現地での生活や風習をしっかりと楽しんで、コンコードとの友好関係を一層強くしてもらいたい」と激励。各校の校長らも、現地での体験を将来の糧にできるようエールを送った。

団員らも一人ずつ抱負を述べ「あまりコミュニケーションは得意でないが、自分からたくさん話しかけたい」「異文化を学習しながら、七飯の良さも伝えたい」「思い出だけで終えず、今後の生活に役立てる」など、念願だったコンコード訪問に胸を膨らませていた。（蝦名達也）

(H29.9.26 函館新聞)

友好の明かり 優しく照らす 七飯のツリー

【七飯】町と姉妹都市提携を結ぶ米マサチューセッツ州コンコード町の交流記念シンボルツリーが町役場庁舎前でライトアップされている。今年町のコンコード派遣事業に参加した町内の学生や一般町民が飾り付けを手伝った友好の明かりが、まちを優しく照らしている。

提携10周年の記念として、2007年に記念植樹したアカエゾマツで、電球

など灯している。庁舎内にも雪だるまの形をした飾りやリースなどを置いた。2日の作業には七飯高校や七飯、大中山、大沼3中学校の生徒らと一般町民代表の計13人が参加。1時間ほど飾り付けの作業を行い、点灯後は自分のスマートフォンなどで記念撮影していた。

両町は今年、提携20年の節目を迎え、役場駐車場側の歩道を「コンコードストリート」と命名。コンコードより寄贈された風向計を入口門に取り付け、友好交流の新たなシンボルとしている。

点灯は午後4時～同9時で、25日まで。（蝦名達也）

ツリーを飾り付け、点灯したコンコードの訪問団ら（提供）

(H29.12.6 函館新聞)